

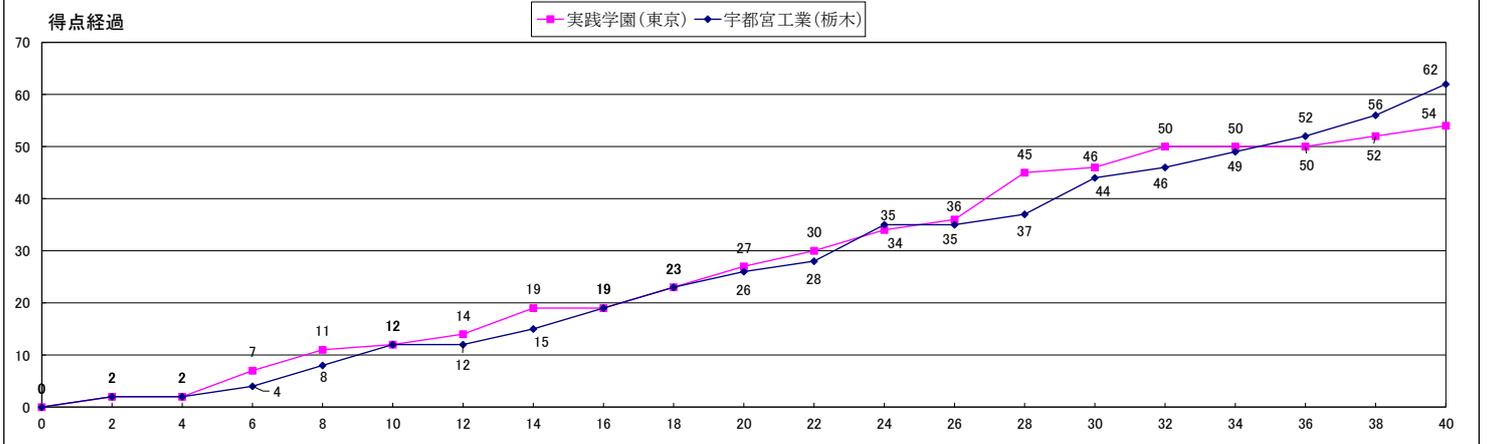
試合No.	B2	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会											
		期 日	令和5年2月12日(日)				会 場				小田原アリーナ			
男子2回戦	CC	安藤 俊明	U1			本間 竜也				U2		小宮 颯太		
チーム名			1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score					
宇都宮工業(栃木)			12	14	18	18			62					
実践学園(東京)			12	15	19	8			54					

宇都宮工業(栃木)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
大谷 鴻太(CAP)	* 4	15	3	15	20%	2	5	40%	2	3	67%	0	3	4	1	0	2	1
佐藤 壮流	* 5	4	0	1	0%	1	3	33%	2	2	100%	0	5	4	1	1	2	1
山川 大翔	* 6	8	1	4	25%	2	5	40%	1	2	50%	0	3	1	1	0	4	2
石川 晃希	* 7	24	0	0		10	16	63%	4	6	67%	2	17	3	3	0	2	2
寺内 幸成	* 8	11	0	1	0%	5	6	83%	1	2	50%	2	3	0	1	0	0	2
大里 知輝	9																	
田辺 真之介	10																	
櫻井 千尋	11																	
小平 陸斗	12																	
高野 莉玖	13																	
檜山 大空	14																	
平田 晃聖	15																	
富田 大翔	16																	
川邊 璃音	17																	
松本 楽生	18																	
コーチ 高崎 徹																		
合計		62	4	21	19%	20	35	57%	10	15	67%	4	31	12	7	1	10	8

実践学園(東京)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
雪竹 晴太	4																	
北川 堅資	6	2	0	1	0%	1	1	100%	0	0		0	2	0	0	0	0	0
金谷 諒平	11																	
渡邊 颯太	* 14	9	1	4	25%	3	6	50%	0	0		0	1	1	2	0	2	3
江川 晴	* 15	11	0	7	0%	5	12	42%	1	2	50%	3	6	0	1	1	1	4
浅岡明日蘭	22																	
佐藤 琉琥	32																	
南澤 空(CAP)	* 37	25	3	10	30%	8	16	50%	0	2	0%	1	3	3	5	0	3	3
土山 瑛人	42																	
山本 真司	45																	
平岡 拓篤	49	2	0	0		1	2	50%	0	0		1	0	0	0	0	1	1
鈴木 宙仁	73	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
高橋徳乃心	* 79	5	0	1	0%	2	8	25%	1	2	50%	3	5	2	6	0	5	3
山下 巧稀	* 81	0	0	0		0	3	0%	0	0		2	2	0	1	0	2	3
武井 春磨	82																	
コーチ 高瀬 俊也																		
合計		54	4	23	17%	20	48	42%	2	6	33%	10	19	6	15	1	14	17



**戦評**

1Q 両チームともにマンツーマンでスタート。宇都宮工業は#7のポストプレイで得点。対する実践学園は#37のゲームメイクから多彩にシュートチャンスを伺う。互いにリズムがつかめぬまま5分経過。宇都宮工業が速攻を繰り出し、リズムの良い合わせて得点を重ねていく。実践学園も粘り強いオフェンスリバウンドでつないでいくが、アウトサイドが決まらない。その後も重い展開が続き12-12で1Q終了。

2Q 両チームともディフェンスは変わらず2Qスタート。両チームともインサイドを軸にオフェンスを展開していく。2Q開始3分で実践学園がタイムアウト。タイムアウト明け、宇都宮工業が2-2ゾーンプレスから3-2ゾーンで仕掛ける。積極的なディフェンスから流れを掴んだ宇都宮工業は、#4の3ptsで18-19の一点差に迫る。実践学園は、宇都宮工業のチェンジングディフェンスを攻めあぐね、なかなか得点が決まらないが、終盤#4の個人技が連続で決まり26-27で2Q終了。

3Q 後半、実践学園は2-3ゾーン。対する宇都宮工業は前半同様にマンツーマン、ゾーンプレス、ゾーンを織り交ぜたチェンジングディフェンス。両者譲らない展開の中、リバウンドで強さを見せる宇都宮工業#7が着実に得点していく。実践学園も#4が冷静なプレスダウンとゲームメイクで加点していく。3Q残り3分、宇都宮工業はターンオーバーが続き、連続得点されたところで宇都宮工業たまたまタイムアウト。タイムアウト明け、実践学園は1-2-2ゾーンプレスで仕掛ける。宇都宮工業も激しくプレッシャーをかけ譲らない展開。44-46実践学園がリードして3Q終了。

4Q 両チームともディフェンスは変わらずスタート。開始早々、実践学園#4の個人技が光る。宇都宮工業も負けじと#4が連続3ptsで突破口を開く。実践学園はゾーンプレスに対するボール運びでターンオーバーが増えてしまう。インサイドで存在感を見せる宇都宮工業#7がフリースローで着実に加点し、その後も一進一退の点の取り合いが続く。終盤、タフショットが多くなった実践学園に対し、宇都宮工業は落ち着いてボールムーブしてチャンスを掴む。最後は、宇都宮工業#4と#5が落ち着いてフリースローを沈めて勝負あり。62-54で宇都宮工業が勝利した。